

西分より



新鮮なものを皆さんに

やまき かつのぶ
山崎 和信さん(65歳)

県外で40年ほど建設関係の仕事に就いていましたが、4年前退職を機に地元へリターン。両親の農地が耕作放棄地になっており「このままでは周囲の方々に迷惑がかかる」と、4カ月かけて整地しました。その農地でタマネギを栽培し、今年から「春の里」に出荷し始めました。次はサツマイモとジャガイモの栽培にも挑戦したいと思っています。皆さんには新鮮なものを食べて欲しいので、朝出荷シタ方には回収するようにしています。

趣味は音楽活動で、ギターは12歳から続いています。グループサウンズが好きで、音楽仲間と共に4~10月の日曜日に月1回ライブをしています。

ライブの様子。
「ザ・タイガース」の
「君だけに愛を」が
持ち歌です!



高知 地区から こんにちは

弘岡下より



好きな農業を生涯現役で

きたむら えみこ
北村 恵美子さん(76歳)

結婚を機に就農して54年になります。初めはキュウリやナス、梨などを育てていましたが、現在は主人と息子の3人で約50アールのハウスでアールスメロンを栽培しています。近年は資材高騰や気象状況の悪化で栽培が難しくなっていますが、試行錯誤しながらおいしいメロンを作れるように頑張っています。毎朝起きたとき「今日は何をしようか」と管理や収穫のことを考えるほど農業が好きで、たくさんの野菜や果物も家庭菜園で栽培しています。

これからも健康に気を付けて、好きな農業を生涯現役で続けていきたいと思っています。

エノキのおいしさ伝えたい

横田きのこ有限公司

よこた
横田 このみさん(34歳)

専門学校を卒業後、家族が経営する会社に入社して12年目になりました。現在は収穫・配送・伝票発行などを担当しています。多い時は6000株を収穫したり栽培管理も行います。大変なこともありますが、白くきれいなエノキを皆さんに届けるために頑張っています。私たちが育てる「極みえのき」は室戸海洋深層水を使用し、エノキ独特の臭みが少なく、シャキシャキの歯ごたえが特徴です。スーパーで見かけたら、ぜひ一度お試しください。

とさのさとより

「乾燥えのき」は
サラダ・豆腐・お好み焼きに
トッピングがオススメ。



「かむかむえのせん」は
冷やしてパリッと、
常温でしっとりの
せんべいです。

とさのさとでは「乾燥えのき」「かむかむえのせん」の2つの加工品を販売しています。試食宣伝も行って、おいしさをどんどんPRしていきたいです。

春野支所より



これからよろしくお祈いします!

ちかざわ はるの
近澤 悠乃さん(22歳)

この4月に新卒で入組しました。よろしくお祈いします!

6歳から大学までバレーボールをしていて、大学の時には全国大会にも出場しました。JAへは、地元で就職したかったことに加え、母と「とさのさと」で買い物をしてた時、新鮮な農畜産物が揃っているのを見て良い印象を持ち入組を決めました。休みの日は友人と、県内のおいしい定食屋さん巡りをしています。

現在は、自賠責・自動車共済の担当のほか、窓口業務も行っています。組合員の皆さまと関わりながら、教わったことを復習してできることを少しずつ増やしていきたいです。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



ほ場を見学しながら若手生産者と意見交換しました

1 高知地区 若手生産者 ベテランから学ぶ現地検討会

春野胡瓜部会は5月1日、「ベテランさんこんにちは」と題した現地検討会を初めて開きました。若手生産者がベテラン生産者の栽培技術や栽培に対する考え方、産地を支え続けてきた経験と知識を教わる機会を作りたいと企画。ほ場を見学しながら意見交換することで、生産者同士のつながりを強め産地の強化につなげます。若手育成会に所属する生産者とJA職員が栽培歴45年の藤原幸仁さんのハウスを訪れ、ハウス管理などについて自由に話し合いました。藤原さんは「毎朝ハウスに入った時、「良い」状態になっていると自信を持てるようなハウス作りに努めてほしい。これからの産地を頼みます」と若手生産者にエールを送りました。参加した若手育成会の片山祥寿会長は「ハウスの状態から、機械が行うこと以上に努力し手を掛けていることが伝わる。自分たちの栽培にもまだ伸びしろがあると感じた」と話しました。

2 高知地区 フレミズ部会のワークショップ サシェ&リース作り



参加者に飾り付けをアドバイスする近森部会長

春野地区のフレッシュミズ部会は5月12日、春野営農経済センター大会議室でアロマワックスシェとリースを作るワークショップを開きました。フレッシュミズ部員が自ら教えるスタイルで3回目の開催となりました。参加者は飾り付けるプリザーブドフラワーを選び、8種類のアロマオイルの中から好きな香りを選びました。部員は専門家の指導を受け、商品作りやワークショップを開くなど練習を重ねており「完成形をイメージしながら、花材も自由に飾り付けて」とアドバイスしました。参加した高知市の40代女性は「自分の好きな花を選んでデザインできるのが良かった。自宅に飾って楽しみたい」と話しました。同部会の近森陽子部会長は「昨年より参加者も増えている。フレッシュという組織を知ってもらいつつ活動も楽しんでもらっているようで良かった」と話しました。

3 高知地区 とさのさと農業体験イベント トマト選果場見学と茶摘み体験



茶摘みを楽しむ参加者

JAファーマーズマーケットとさのさとでは5月11日、高岡郡日高村で農業体験イベントを開きました。体験を通して、消費者に高知県の食・地域・自然や食文化を学んでもらい、県産の農産物や「とさのさと」のファンづくりを目的としています。参加者はトマト選果場の見学と霧山茶園にて茶摘みを体験。また「村の駅ひだか」に寄り、買い物を楽しみました。イベントは計4回を企画しており、8月に稲刈り体験と料理教室、10月にサツマイモの収穫体験と同社店頭での販売体験を予定しています。

4 高知地区 春野営農経済センター 燃油高騰対策事業の申請受付行う



生産者からの申請を受け付けるJA職員

春野営農経済センターは5月23日と24日、同センター内で令和6年度施設園芸等燃油価格高騰対策の事業申請受付を行いました。事業の説明のほか、要件にある燃油削減に向けたチェックシート作成支援も行い、2日間で234人が申請しました。また、同会場では農業者年金、JA共済、スマート農業、後継者支援などのコーナーも設けられ、個々のニーズに応じた相談も行われました。同センターの吉本光寛次長は、「生産資材も高騰が続く農業経営が厳しい中、多くの申請につながるよう引き続き支援していく」と話しました。

5 高知地区 みんなが主役の活動を 青壮年部が総会



JA青壮年組織綱領を唱和する部員

青壮年部春野本部は5月24日、春野町で通常総会を開きました。令和6年度の活動計画案及び収支予算案などが承認されました。本年度は本部長に大庭啓太さん、副本部長兼連帯委員に小島幸太さん、副本長に見元大祐さんが選任。また新設された企画部長に片山優俊さんが選任されました。本年度は、農業を基礎とする豊かな地域づくりを目指した活動や、各種スポーツ大会、女性部との合同事業によって部員相互の協力関係を深め、組織を強化していきます。大庭本部長は「部員みんなが主役になれるような活動をしていきたい」と話しました。

6 高知地区 令和6年度一人一研究発表会 浪越城介さん最優秀賞！



発表する浪越さん

県内JAの営農指導員で構成する高知県農協営農指導員会は5月31日、営農指導員の相互研鑽・資質向上を図るため令和6年度一人一研究発表会を高知市内で開催しました。最優秀は春野営農経済センターの浪越城介さんが受賞。「春野きょうり部会見える化をすべての生産者へ」と題し、生育状況の「見える化」を行う環境制御技術普及の取り組みを発表しました。浪越さんは「地区の営農指導員全員での取り組みが評価されとてもうれしく思う。今後も生産者のニーズに応えられるよう情報共有に努め、世代間のギャップを埋めるように活動したい」と話しました。

高知農業改良普及所より

施設キュウリにおける低濃度エタノールによる 土壌還元処理について

ハウスで栽培されるキュウリにおいて、ネコブセンチュウ類などの土壌病害虫の発生は収量が減少する要因になっているため、対策の徹底を図っていく必要があります。

そこで、土壌の深層まで効果があると期待されている低濃度エタノールを利用した土壌還元処理について紹介します。



写真1 ネコブセンチュウによる
キュウリ地下部の症状



写真2 ネコブセンチュウ

●低濃度エタノール土壌還元処理とは

土壌還元処理とは、有機物（フスマ、糖蜜など）を土壌微生物に分解させることで、土壌環境を極端に酸素の少ない状態にし、病害虫を死滅させる方法です。低濃度エタノールを利用した土壌還元処理は、有機物として濃度0.5～1%程度のエタノール水溶液を利用し、透明フィルムを土壌表面に被覆する太陽熱処理を組み合わせた土壌処理技術です。エタノールは粘性の低い液体なので、フスマや糖蜜よりも土壌の深くまで浸透し、処理効果が期待されます。

●作業手順

①ほ場の準備

均平にならしたほ場に、散水チューブを設置します。

②フィルムの被覆

その上から、土壌温度を上げるため透明フィルム（農ポリやビニール）を被覆します。

③エタノールの希釈・処理

70ℓ/mを目安に、多量のエタノール水溶液（エタノールを50～200倍程度に希釈）を処理します。タンク（500ℓ程度）と液肥混入機などを使い、チューブで処理します。処理後、一定期間湛水状態を維持することがポイントです（図1）。

④施設の密閉

施設全体を密閉し、2～3週間その状態を保って土壌の還元化を促します。深さ20cm以下の地温を30℃以上に保つ必要があります。地温が高い期間が長いほど効果的です（写真3）。

⑤処理後の作業

土壌還元処理終了後、透明フィルムを取り外します。土壌の深い所ほど還元化され、灰緑色に変色しているか確認します。定植の際、未消毒の土が混ざらないように注意しましょう。

⑥実施上の留意点

- ・水はけが良すぎる土壌での利用はお勧めできません。
- ・処理期間の地温は30℃以上が望ましいため、適期は6～9月上旬です。
- ・土壌還元が進むと、土壌還元処理特有の発酵臭がするので、周辺住民や環境への配慮に努めましょう。

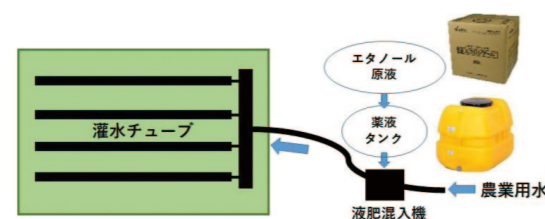


図1 低濃度エタノールの処理方法



写真3 処理中のほ場の様子

関心のある方は、JA高知県春野営農経済センター
または高知農業改良普及所（088-861-0711）までお問い合わせください。



春野営農経済センターからのお知らせ

春野町新規就農者育成協議会 事務局 JA高知県春野営農経済センター
営農指導課 088-894-5660

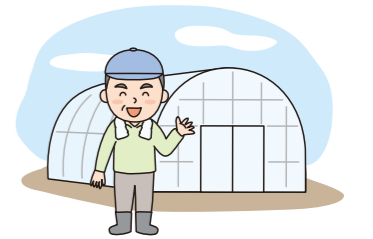
令和7年度 園芸用ハウス整備事業 (旧レンタルハウス整備事業) 利用者募集

令和7年度の園芸用ハウス整備事業の利用者を募集しています。

農業者の方に安心して施設園芸に取り組んでいただくため、施設園芸を始める場合や規模拡大や高度化、他の農業者からハウスを譲渡又は借りる場合に、そのハウスや付帯設備の改良に要する経費の一部に対し県と市町村が補助し、農業者負担の軽減を図る有利な事業です。

区分については、新規就農区分・高度化区分（建替え・規模拡大）・流動化区分があり、県の補助率は2/5から1/4、市町村の補助率は1/3から1/4となっています。

※当JAの内規及び過去の経営実績を基に作成する今後5カ年の経営計画を基準として利用者選考いたします。



申込締切日：令和6年8月8日(木)

お問い合わせ先：春野営農経済センター 営農指導課 TEL 088-894-5660

土づくりについて

良い土とは？

保水性、排水性、通気性、保肥力が良い事です。



良い土づくりとは？

- ・土中の微生物の働きで細かな土の粒子がくっついて団粒ができます。小さな団粒の集まりの団粒構造をしっかり作りましょう。
- ・有機物（稲わらや堆肥等）を土壌にすき込むことにより、有機物を餌として微生物が活発化し団粒構造が持続します。また、物理的に保水性や排水性、通気性、保肥力がよくなります。
- ・団粒構造がうまくできていると、団粒の中で水分が保たれ、団粒と団粒の間には適度な隙間ができ、排水と通気が良くなります。植物は成長に必要な水分が十分にあり、根の張りが良く、元気な植物を育てることができます。
- ・団粒構造がうまくできていないと、土が固く締まり、排水や保水がうまくいかず、通気性も保肥力が弱まってしまいます。植物の根の張りが悪くなり、十分な水分や肥料もないために育ちも悪くなります。

※有機物（稲わらや堆肥等）などを使用して、良い土づくりを行い、元気な植物を育てましょう。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

農家さんのご苦労が詰まった初夏の味を今年も堪能させて頂きました。

(高知市東久万 73歳)

小夏の食べ方は、県外の方や最近の高知県民でも知らない方がおり、もっとアピールできたらと思います。

(高知市西秦泉寺 69歳)

小夏加工品一品ずつ食べたい！

(春野町平和 74歳)

▼5月号特集1では、「土佐に伝わる初夏の味『小夏』」を特集しました。露地・ハウス栽培の2つの産地から、高品質を目指す生産者の取り組みを取材しています。私がオススメする加工品は「小夏じゅーす」。暑い日に冷やして飲むと、甘酸っぱい風味が最高です。

やっぱり春野だから、地域の方が出ているら目に留まりますね。

(春野町弘岡上 66歳)

▼「高知地区からこんにちは」では、春野町内のお店や伝統工芸を作る職人さんなどさまざまな方を紹介しました。その方々の価値観に触れることができるため取材が毎回楽しみです。これからもいろいろな方を取材していきますので、お楽しみに！写真がどれも良いものばかりで癒されました！次回があれば応募したいです。

(高知市東秦泉寺 36歳)

子どもたちの笑顔が良かったです。

(春野町仁ノ 56歳)

▼特集2では「こうぐりフォトコンテスト2024」の結果を発表しました。高知の

「農」の魅力が伝わる写真が、SNS・メール・郵送で140点応募がありました。たくさんの方の応募、ありがとうございました。マンネリになりがちな料理の参考になりました。ありがとうございます。

(高知市神田 68歳)

さっそく作ってみました。簡単でおいしく好評でした。

(高知市高須 44歳)

▼「うちんくの台所」では、四万十地区興津支部の女性部さんが、2品紹介してくれました。簡単にピーマン・ミョウガをおいしくいただけるレシピなので、ぜひ作ってみてください。気になっていたお店のランチが出たので、行ってきます！

(高知市与力町 48歳)

たまに家族で食事に行きます。食べ物も大変おいしいです。

(春野町弘岡中 69歳)

▼「コチットのイチオシ」では、「コーヒーハウス パブリカ」の日替わりランチを紹介しました。毎日変わるメイン料理と大盛り無料のライス、スープが付いて770円のお手頃価格です。ぜひ一度行ってみたいかがでしょうか。

毎月「こうぐり」楽しみにしています。高知の「農」のすばらしさ発信、ありがとうございます！

(高知市潮見台 63歳)

▼うれしいご意見ありがとうございます。これからも皆さんに楽しんでもらえる広報紙を作っていきます。よろしくお祈りします！

JA高知県 無料年金相談会 開催

開催日 令和6年8月24日(土)

時間 午前10時～午後3時

場所 JA高知県春野支所

住所 高知市春野町西分512-2

TEL 088-894-2203 (担当：小川・八木)

ご来場をお待ちしております

～相談会で年金の疑問を解決しましょう～

- ★ 専門の社会保険労務士が、ご相談を無料でお受け致します。
- ★ 年金受給中の方、新規お受け取りの方、どのようなご相談もお受け致します。お気軽にご相談ください！

※ ご予約をお願い致します。ご予約の無い場合、多少お待ちいただくことがあります。

こんなお悩みありませんか？

- ・年金ってどこでどんな手続きをすればもらえるの？
- ・自分はいくら年金がもらえるのだろう？
- ・最近、年金の封筒が届いたけど、どうすればいいの？ など

